

津山中央病院 連携広報誌

2024年
2月号

メディネット



Vol.244



新庄不動の滝（新庄村）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

Topics

陽子線治療の現在とこれから

『陽子線治療の現在とこれから』



津山中央病院 放射線科 部長
放射線治療センター副センター長
おがた たけし

尾形 毅

専門領域

・放射線治療

専門医・指導医

・日本医学放射線学会放射線治療専門医

・日本がん治療認定医

・日本医学放射線学会研修指導者

・緩和ケア基本教育に関する指導者研修会修了

当院では2016年5月より陽子線治療を開始し、中四国唯一の粒子線治療施設として、地域の医療機関からご紹介頂いた患者さまの治療に当たっております。

陽子線治療は2001年に高度先進医療として開始され、16年度に小児がんが初めて保険適応となりました。その後18年度より前立腺がん、一部の頭頸部がん、根治的手術が困難な骨軟部腫瘍が保険適応となり、22年度からは4cm以上の切除不能肝細胞がん、切除不能肝内胆管がん、切除不能局所進行膵がん、切除不能な大腸がん術後局所再発病変にも適応が拡大されました。当院では上記の保険適応疾患に対しては原則として対応させて頂いておりますが、全身状態の悪い方や当院に当該診療科の常勤医が不在の疾患（頭頸部がんなど）については対応が難しい場合もあります。陽子線治療に限らず放射線治療は放射線科だけで完結するものではなく、多職種・多科の協力が不可欠であることを御理解頂ければ幸いです。

保険適応以外に、先進医療として陽子線治療が行われている疾患もあります。現時点で先進医療の対象になっている疾患は、原発性脳腫瘍・口腔、咽喉頭の扁平上皮がん・肺がん・食道がん・肝外胆管がん・転移性腫瘍（肺、肝、リンパ節）などがあります。当院では医学物理士の不在などの影響により、先進医療については新規患者さんの受け入れを停止しておりました。人材の確保は引き続き厳しい状況ですが、今後は先進医療の中でも比較的ニーズの高い末梢型肺がんなどについても対応できるような体制を整えていく予定です。

	適応
保険診療	小児腫瘍: 限局性の固形悪性腫瘍 頭頸部悪性腫瘍: 口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く 限局性および局所進行性前立腺がん 限局性骨軟部腫瘍* 局所進行性膵がん* 肝細胞がん*: 直径4cm以上 肝内胆管がん* 局所大腸がん*: 手術後に再発したもの *いずれも手術ができないものに限る
先進医療	脳脊髄腫瘍: 膠芽腫、神経膠腫、髄膜腫、その他の稀な脳腫瘍 頭頸部腫瘍: 口腔・咽喉頭の扁平上皮がん 肺縦隔腫瘍: 限局性肺がん、局所進行非小細胞肺がん、縦隔腫瘍 消化管腫瘍: 食道がん 肝胆膵腫瘍: 保険適応以外の肝細胞がん、胆道がん 泌尿器腫瘍: 膀胱がん、腎がん 転移性腫瘍: 肺・肝・リンパ節転移(少数転移のみ)

陽子線治療の適応となる疾患(2023年度時点)

先進医療の見直しは定期的に行われており、従来の放射線治療より効果(生存率など)が上回るか、有害事象(放射線による悪影響)が少なくなることが科学的に示された場合などに保険診療として認められてきています。日本放射線腫瘍学会の粒子線治療委員会でも、2024年度の診療報酬改定にて陽子線治療の保険適応をさらに拡大して頂く方向で作業が行われております。新たな疾患に対する陽子線治療が保険適応として認められた場合は、当院でもできるだけ速やかに対応させて頂く予定です。

まだまだ皆様のご期待に添えていない点が多いと思いますが、将来に渡って質の高い放射線治療をご提供できるよう努めさせて頂きます。



がん陽子線治療センター外観



シンクロトロン
(陽子線を作り出す機械)



陽子線照射室
(360度どの方向からでも照射可能)



照射風景

セミナー・講演会情報

●CC セミナー (Web 併用のハイブリッド形式)

講演 『 当院で始めた循環器検査・治療について

-地域で治療を完結するために- 』

- ・ 講師 循環器内科 副院長 岡 岳史 先生
- ・ 日時 2024年2月13日(火) 19:00~20:00
- ・ 場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室

能登半島地震への支援について

津山中央病院は、この度の能登半島地震への支援として、下記2点実施いたしました。

1. 備蓄物資の提供

VHJ 機構の要請を受け、1/9 (火) 石川県七尾市の基幹病院、恵寿総合病院へ備蓄物資をお送りいたしました。恵寿総合病院は、民間病院でつくる NPO 法人 VHJ 機構の会員病院で、入院患者さんや介護施設利用者さんらの食事提供に役立ててもらうため、パンや飲料水、缶詰など 400 人分を3日ほどまかなえる量を支援いたしました。



2. DMAT の派遣

厚生労働省、岡山県より DMAT 出動要請をうけ、1/13 (土) から5日間、医師3名、看護師1名、薬剤師1名、理学療法士1名の計6名が医療支援にあたりました。現地では、穴水町にある穴水総合病院などで他の医療チームと連携し、患者搬送や派遣員の指揮など行いました。

